

## 殺菌剤

## キンセツ水和剤80

## 銅・有機銅水和剤

令和8年3月18日付けで以下の通り適用拡大されました。

## &lt;変更内容&gt;

- 作物名「りんご」を削除。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	銅を含む 農薬の総 使用回数	有機銅を 含む農薬の 総使用回数
りんご	斑点落葉病 輪紋病 褐斑病 炭疽病	1000～1200倍	200～ 700L/10a	収穫14日 前まで	4回以内	散布	—	7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内)

- 作物名「なし」の使用時期を「収穫3日前まで」から「収穫21日前まで」に変更。  
下線が変更部分です。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	銅を含む 農薬の総 使用回数	有機銅を 含む農薬の 総使用回数
なし	輪紋病 黒星病	1000～1200倍	200～ 700L/10a	<u>収穫21日</u> <u>前まで</u>	9回以内	散布	—	12回以内 (塗布は3回以内、 散布は9回以内)

## &lt;使用上の注意事項の変更・削除&gt;

## 【変更前】

- (5)りんご、おうとう及びネクタリンに使用する場合、薬害を生ずるおそれがあるので、薬害軽減のため炭酸カルシウム剤の所定量を添加すること。
- (6)炭酸カルシウム剤の所定量の添加は薬害軽減に有効であるが、かんきつ、りんご、なし等果実の収穫間際には果実に汚れを生ずるので留意すること。

## 【変更後】

- (5)おうとう及びネクタリンに使用する場合、薬害を生ずるおそれがあるので、薬害軽減のため炭酸カルシウム剤の所定量を添加すること。
- (6)炭酸カルシウム剤の所定量の添加は薬害軽減に有効であるが、かんきつ、なし等果実の収穫間際には果実に汚れを生ずるので留意すること。

## 【削除】

- (8)本剤をりんごの病害防除に使用する場合は、サビ果の発生を多くすることがあるので、落花直後から落花20日頃までの使用はさけること。また樹勢の良くない状態などで連続散布すると生理落葉を助長することがあるので注意すること。特にゴールデン及びゴールデンからの育成品種では注意すること。

